

● 活動目的

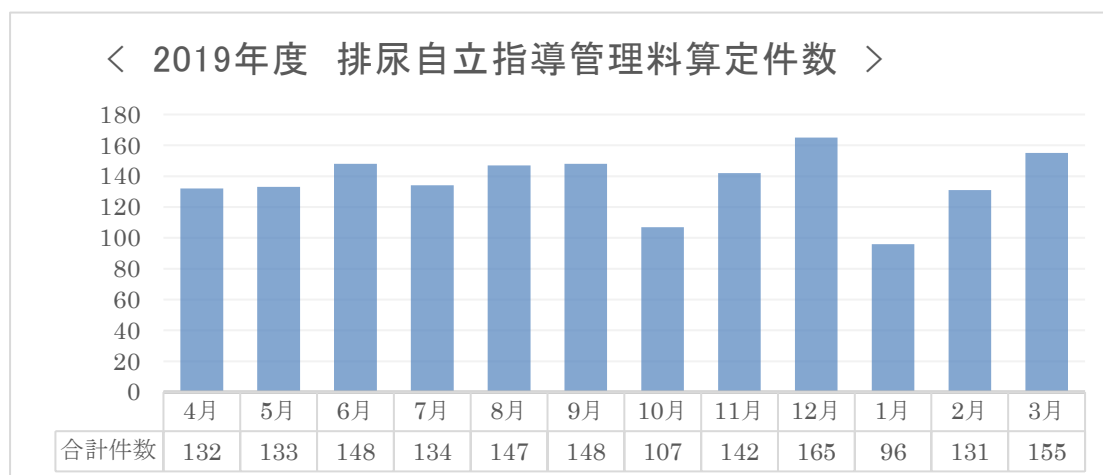
2019 年度より排尿ケア推進室として認可されています。今回で活動報告は 2 回目となります。

1. 国立病院機構岡山医療センターにおける患者の排尿自立支援を推進する目的に、多職種と協力して排尿ケアの実践と院内教育を行う。
2. 室の業務は次のとおりとする。
 - a) 下部尿路機能障害の症状(尿失禁、尿閉等)を有する患者の抽出
 - b) 下部尿路機能評価のための情報収集
 - c) 下部尿路機能障害を評価し、排尿自立に向けた計画を策定
 - d) 包括的排尿ケアに対する病棟スタッフへの指導とケア実施後の評価
 - e) 排尿自立指導の実践状況(尿道カテーテル留置患者数、排尿チーム介入患者数、排尿障害件数、有熱性尿路感染症件数等)を把握する
 - f) 院内研修の実施

● 活動状況

1. 2019 年度の活動状況

- a) 排尿ケアラウンドとして、毎週月曜日に病棟へ出向き、個々の症例について排尿自立に向けた計画を策定、実践した
- b) 奇数月に排尿ケアチームによる委員会と、勉強会を開催した
- c) 排尿ケアチームに携わる資格取得のため、所定の研修を新規に 3 名が予定したが、COVID-19 の影響で延期となっている。
- d) 全職員を対象に、2019 年 8 月 8 日、8F 大研修室にて排尿ケア院内研修会を開催し、62 名の受講者があった



● 研究業績

1. 学会、研究会

1) 河本晶代, 市川孝治

当院における排尿ケアチームの取り組みと今後の課題

排尿ケアを考える会, 2019年9月28日, 岡山市

2. その他

『尿失禁患者に対する包括的排尿ケアが退院後の QOL にもたらす影響』について臨床研究を開始した。